

# 9月 定例会

# 議 案 審 議

会期 9月2日～9月29日(28日間)

## 市長提出議案

- 決算案件 ..... 8件
- 予算案件 ..... 6件
- 条例案件 ..... 5件
- その他案件 ..... 4件

この定例会には、令和6年度各会計決算、令和7年度各会計補正予算、条例の一部改正など23議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり認定・可決・同意されました。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。QRコードを読み取ると議案質疑の録画映像をご覧ください。



議案  
第20号

## 旭中央病院第3期中期 計画の変更に係る認可

### 第3期中期目標を達成するための 計画を変更

厳しい経営環境に直面している同病院が、引き続き安定した病院経営を維持できるよう、資金繰りを平準化し、確実に運営資金を確保するため、計画の予算、収支計画及び資金計画を変更する。

**問** どのような理由と背景から、今回の中期計画の変更が必要となり、どの点が主に変わるのか伺う。

**答** 今回の変更は、計画期間中における施設や医療機械機器の整備など、設備投資に係る財政措置として、可能な限り起債を活用することとし、その額を増額しようとするもの。旭中央病院では、従来、設備投資に際しては、負債額の抑制等の観点から、大規模な建設事業や高額な医療機器等の整備にのみ起債を活用し、それ以外には自己資金を充ててきた。今回の中期計画においても、それは同様だったが、一般の人員費や薬剤費等の高騰に診療報酬の水準が対応していないことなどにより、全国的に病院の経営が急激に悪化しており、旭中央病院においても、令和5、6年度と連続して赤字を計上している。これに伴い、現金預金が大きく減少した。市民に対して良質な医療

を提供していくためには経営の安定が不可欠であることを踏まえ、企業の短期的な支払い能力を示す流動比率を急激に低下させないようにするため、流動資産である現金預金の確保を図る、病院事業債については、その元利償還金の25%が交付税措置されることから、収入の増加を図る、耐用年数に応じた償還年限を設定した起債を行うことにより、負担の平準化を図る、などの理由により今回の変更を行う。

**問** 設立団体である旭市として、今後どのような支援を検討しているのか。

**答** これからも安定した医療サービスを提供できるよう、定期的に情報交換を行い、病院事業債の管理だけでなく、経営状況の把握に努め、必要であれば業務運営の改善等の指示を行う。

**問** 市民への説明責任の果たし方について伺う。

**答** 中期目標や中期計画のほか、年度計画や業務実績、そのほかの財務諸表など、旭中央病院の運営状況について議会へ報告するとともに、市及び法人のホームページにて公表している。

議案  
第22号

## 工事請負契約の締結 (ひかた椿小学校(電気設備))

契約方法 総合評価方式一般競争入札  
契約金額 2億900万円

相手方 鈴木電設株式会社

**問** 同時に公告した建築工事が不調になっていない。開札調書を確認したところ、予定価格と大きな開きがあるようだった。建築工事は、設計変更して再入札にかけると思うが、電気設備工事も設計や積算を見直したほうが、一体的でよりよい改造工事になると思うが、本市の見解を伺う。

**答** 今回入札を行った建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構改修工事の4本の工事については、関連する工事ではあるが、それぞれの工事において独立した形で適正に積算を行っている。

**問** 建築工事の入札では、近隣において入札不調が多発している状況であり、設計変更して再入札を繰り返しても、落札されないケースが多発している。機械設備工事、外構改修工事は契約しているようだが、建築工事のめどが立たない中で電気設備工事も契約して、影響はどの程度なのか伺う。

**答** 既に契約している機械設備工事と外構改修工事の受注者とは、今後、打合せを行う予定。電気設備工事についても、契約後に打合せを進めていく予定。建築工事に影響のない範囲で、着工するか、建築工事が決定した後にスムーズに工事が進められるよう段取りや材料の確保などの準備を進めてもらう予定。